

妻ヶ丘中学校だより

令和8年2月26日（木） 校長 飯干 裕二

創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会

標記の大会が、去る1月31日（土）に東京都立六郷工科高等学校にて行われ、本校3年生の田口眞太郎さんが、九州代表として制御部門に出場し、10位という輝かしい成績を収めました。田口さんは1年時より、ものづくり研究会に所属し、地道な努力を重ねてきました。その総決算として、本大会において素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれました。中学校卒業後も更なる飛躍を期待するとともに、日本のテクノロジーの発展に貢献してくれることを祈念しています。



参観日・立志の集いへのご出席ありがとうございました

2月20日（金）に参観日（2学年は立志式）が行われました。1学年は進路学習（総合的な学習の時間での取組）の発表と学級懇談、2学年は立志の、3学年は毎年実施しておりません。



保護者の皆様におかれましては、ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございました。また、立志式につきましては、本校の卒業生でもあられる、本市の池田市長様にご講演をいただき、後輩の在校生に対して、大変有り難いお話を頂戴しました。また、式の中では、生徒一人一人が自分の夢とこれからの生き方について決意を述べてもらいました。

卒業式に際し

もう3月です。3月は旅立ちの時期であり、本校の卒業式も3月16日（月）に実施されます。その前に県立高校一般入試があり、そして、卒業式前の3月11日（水）は未曾有（みぞう）の大震災である東日本大震災が発生した日です。今から紹介する文章は、当時、震災発生後に、宮城県気仙沼市立階上（はしかみ）中学校卒業式での卒業生答辞（梶原裕太さん）です。現在も多くのメディア等で取り上げられています。卒業式前に是非、ご一読ください。

卒業生代表答辞

本日は未曾有（みぞう）の大震災の傷も癒えないさなか、私たちのために卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。

ちょうど10日前の3月12日。春を思わせる暖かな日でした。私たちは、そのキラキラ光

る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通り慣れたこの学び舎を、57名揃って巣立つはずでした。前日の11日。一足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、十数時間後の卒業式に思いを馳（は）せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こることも知らずに・・・。

階上（はしかみ）中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません。

時計の針は14時46分を指したままです。でも時は確実に流れています。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心もち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。命の重さを知るには大き過ぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合っていくことが、これからの私たちの使命です。

私たちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。

後輩の皆さん。階上中学校で過ごす「当たり前」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごしてください。先生方、親身のご指導、ありがとうございました。先生方が、いかに私たちを思ってくださっていたか、今になってよく分かります。地域の皆さん、これまで様々なご支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これからも私たちが歩いていく姿を見守ってください。必ず、よき社会人になります。

私は、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に、本当に、本当に、ありがとうございました。

平成23年3月22日 第64回卒業生代表

私は毎年、卒業式シーズンが近づくと、この文章や映像をみるようにしており、その度に胸が張り裂ける思いです。この答辞（メッセージ）は、今後も不易なものだと思いますし、

特に、「苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合っていくこと」とは、我々、日本国民の強みであり、永遠に受け継がなければならないことだと思います。

是非、3月16日（月）に挙行される第79回卒業式は、「当たり前のこと」に感謝し、心のこもった感動の卒業式にしたいと思います。どうぞ、ご協力の程よろしく願いいたします。

1年間ありがとうございました

令和7年度修了式までは日数が残されていますが、本年度の「妻ヶ丘中学校だより」は本号をもちまして終了とさせていただきます。毎月、拙い文章で発出し、大変ご迷惑をおかけしました。

この1年間、皆様のご協力により、無事に学校を運営することができ心より感謝申し上げます。何卒、今後も本校への変わらぬご支援をお願いいたします。本当にありがとうございました。